

辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う

2月24日沖縄県民投票 ついに全県一斉実施へ

こがねい
**ピース
アクション**
2015

News50号

2019年2月7日

こがねいピースアクション 検索

〈発行〉

こがねいピースアクション実行委員会

〈連絡先〉

090-1548-6014 (陣内)

090-3813-7739 (内田)

heiwa.koganei@gmail.com

facebook twitter

「こがねいピースアクション2019」

「こがねいピースアクション2019」
一〇一四年一月九日の「ピースパレード」や、二〇一五年三月七日の「小金井平和の日・市民イベント」を実施した市民たちが、安全法廃止案に反対するために始めたキャンペーン。
駅頭宣伝活動や反対の国会請願署名活動などを通じて、安倍政権の「戦争ができる国づくり」をストップさせ、いのちと平和を守るために連続した多様なピースアクションを展開していきます。



沖縄に連帯して

辺野古埋め立ての是非を問う沖縄県民投票が、5市の不参加表明により暗礁に乗り上げるなか、抗議のハリストに呼応して5市長宛に投票参加を要請する緊急FAXアクションが全国的に呼びかけられました。
小金井では1月18日からの3日間2箇所でする3回のFAXアクションを実施し、延べ1000人近くの人が参加しました。



(2/3の小金井集會にスカイプ参加の元山さん)

ついに2月1日、賛否の選択肢に「どちらでもない」を加える沖縄県議会の条例改正を受け全県一斉実施で決着しました。

2月3日、小金井市市民会館で開かれた『辺野古県民投票が本土に問うもの』の参加者は、90名を超えました。

抗議のハリストを実行した県民投票の会代表の元山仁士郎さんがネットのスカイプで参加。

元山さんは、「県民投票に取り組んだのは、沖縄のオジイ、オバアが次々亡くなつていき、戦争が風化していくことへの危機感があったから。世代間、地域間の対話を願ったから」と語りました。

また、小金井市では10年前に制定された「市民参加条例」で、住民投票が市長の拒否権を制限する形で制度化されていることも報告されました。

地域から顔の見える信頼をつくること、粘り強く対話することの必要性を痛感した集まりでした。
(前原町/安藤)

引き続き 安倍9条改憲反対の全国統一3000万人署名に取り組もう

小金井でも改憲反対の 声があがっています

昨年は森友、加計問題の安倍首相関与疑惑が大きくなくなり、安倍9条改憲に反対する全国統一3000万人署名も急速に広がりました(現在1800万超)。

そして通常国会での改憲発議と臨時国会での自民党改憲案の憲法審査会提出を断念に追い込むことができました。

小金井でも安倍改憲ストップを目指し、ピースアクションでは3000万署名への取り組みを月1回の駅前行動(武蔵小金井・東小金井駅)や集会などで行っています。

また9条の会・こがねい、新婦人、3000万署名推進連絡会なども署名に取り組んでいます。
2019年は安倍改憲の正念場です。

安倍首相は自民党幹部を改憲強硬派で固め、衆議院289小選挙区に改憲推進本部(202完了)立ち上げを進めています。
また通常国会での自民党改憲案提出、衆議院選挙前の改憲発議も諦めています。

衆議院選挙は改憲ストップの大チャンスです。
3000万署名を更に広げ、衆議院32選挙区での立憲野党の候補一本化を実現させれば、改憲勢力を少数に追い込み、改憲発議は遠ざかります。

野党共同実現を目指し全力を尽くしましょう！
(貫井北町/吉武)

小金井平和の日・市民イベント

『戦争体験を語り継ぎ

平和への思いを深める集い』

3月10日(日)12時30分~13時30分

場所:フェスティバルコート

(武蔵小金井駅南口トヨーカドー前広場)

終了後に市民有志で駅周辺をピースパレード予定

主催 小金井平和の日・市民イベント実行委員会

(内田 090.3813.7739 / 陣内 090-1548-6014)

3/10 小金井平和の日・連携市民自主事業 いのちと平和をつなごう

■3月10日(日)～11日(月) 世代を超えて語り合おう「いのちと平和の絵本展」

展示期間 3月10日 10時～22時、11日 9時～19時

会場 宮地楽器ホール 1階マルチパーパススペースB・C

子どもの頃に読んだ絵本、子どものために読んだ絵本、そして新たな出会い。絵本・子どもの本を通して、いのちと平和の尊さを改めて考え、戦争の記憶を語り継ぎ、平和のために声を上げることの大切さを感じられる時間を過ごしてみませんか。

期間中は平和・人権をテーマにした100冊以上の絵本・子どもの本を、自由に手に取って読んでいただけます。

主催 小金井平和の日・市民イベント実行委員会 問合せ 加藤/080-6944-4174



■3月11日(月)社協バスみどり号で行く平和ツアー・横須賀海軍基地へ

海上自衛隊とアメリカ海軍第7艦隊の基地が置かれている横須賀港。

今回の軍港巡りは海上自衛隊やアメリカ海軍の基地に停泊する艦船の種類や名前、役割、横須賀港をめぐる歴史などを案内人が解説してくれます。米軍基地の中(提供水域)を民間の船が巡航できるのは海軍の管理を自治体に委ねた「港湾法」があるからです。軍港を通じて平和を考えます。

主催 9条の会・こがねい 申込先(小林/090-8111-3489)



■3月21日(木・祝)東京新聞半田滋(はんだしげる)さん大いに語る 戦争法成立後の自衛隊と防衛大綱

会場 前原暫定集会施設B 時間 10時～12時 資料代 500円

皆さん、防衛大綱で日本は「空母」や「長距離ミサイル」など攻撃能力のある装備は、安倍政権以外の歴代政権は、憲法9条があるかぎり持てないと言ってきました。いま安倍政権はなぜ持とうとしているのでしょうか？

安倍首相は2015年に集団的自衛権行使(海外で武力行使可能)を閣議決定し、憲法違反と憲法学者から指摘されるなかで、安保法制(戦争法)を強行成立させました。安倍政権は憲法を改定し戦争できる自衛隊を憲法9条に明記しようとしています。いま世論は安倍改憲反対が多数になり改憲スケジュールは大きく狂っています。

東京新聞論説委員半田さんが防衛大綱と自衛隊の現状について語ります。皆さんの参加をお待ちしています。

主催 安倍9条改憲反対3000万署名推進連絡会 (吉武/090-3515-2246)

■3月29日(金)映画で見る“在日”

映画 戦後在日50年史「在日」歴史編・人物編と映画「花はんめ」の上映

上映時間 14時～21時30分 前売券 3作品 2,000円

会場 宮地楽器ホール

“在日”の視点から見た戦後史を描いた映画「在日」。私は呉徳洙監督の助監督として制作に関わった。

完成から20年“在日”とは何だったんだろう?と考える。北朝鮮は絶対悪に祭り上げられ、焼肉キムチは大好き、街にはヘイトが溢れ、その一方で韓流スターがもてはやされる。

そして改憲という名のもとに着々と再び戦争の準備を進めているようにさえ思える。

今だからこそ映画「在日」、そして在日一世のおばあちゃんたちを描いた映画「花はんめ」※を観て語り合う会を企画した。“在日”の歴史はそのまま日本の歴史である。ぜひ観ていただきたい。(映画監督 金聖雄)

主催 キムーンフィルム/042-316-5882

※「はんめ」とは、おばあちゃんを指す韓国の方言

